

[参考] 第2期岩手県公共施設等総合管理計画に係る施設評価について

施設評価について

岩手県公共施設等総合管理計画（以下「**第1期計画**」という。平成27年度策定、令和4年度改定）では、**延床面積の削減**や**県民1人当たり決算額を12,000円以下**とする**管理目標を設定**し、目標達成に向けて取組を進めてきました。

第2期岩手県公共施設等総合管理計画（以下「第2期計画」という。）では、施設の適正配置や総量の適正化の取組を一層推進するため、施設の利用状況や建物性能などを整理した『**公共施設カルテ**』を**作成**し、定量的・定性的な視点から分析・評価を行うことで、**施設ごとに『機能の方向性』と『建物の方向性』のたたき台**を示し、**大規模施設等整備事業の必要性や優先度について評価**することとしております。

なお、これらの**評価結果をもって直ちに当該施設の取扱いを定めるものではなく**、施設をめぐる社会情勢及び本県の財政状況を考慮した上で、**具体のあり方については個別に決定**していきます。

対象施設

県が所有する公共施設のうち、第1期計画において**県民利用施設**に分類されている施設や、**直近で施設の建替・改修等を予定している、67施設を評価の対象**としています。なお、**第2期計画**や同時期に改定予定の**個別施設計画**では、**すべての公共施設を対象として評価・分析**を行います。

「公共施設カルテ」とは

- ・施設の基本情報
- ・利用状況
- ・社会目的適合性
- ・直近の維持管理コストなどの項目について、施設所管部局において整理・作成したもの。

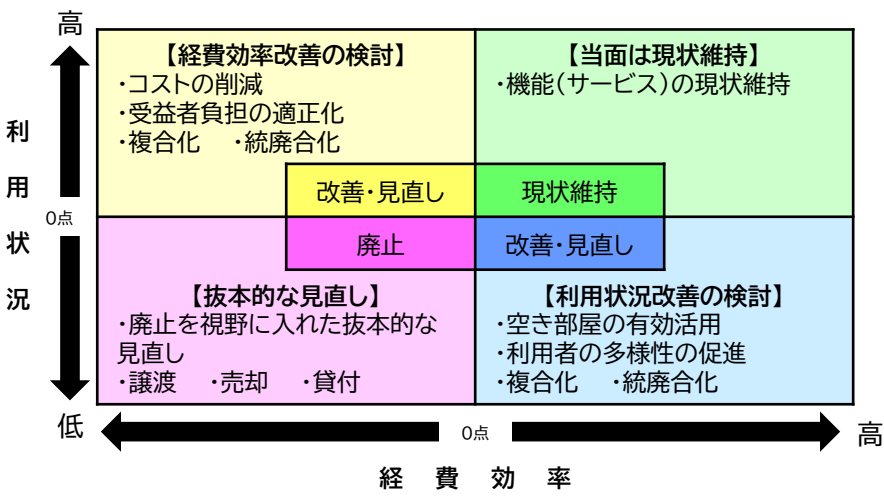
評価方法

各部局が作成した「**公共施設カルテ**」により、施設の基本情報や利用状況、建物性能等による評価（**定量評価**）と、施策上の必要性や代替可能性に関する評価（**定性評価**）をした上で、**大規模施設等整備事業**（建物の更新や複合化、長寿命化改修など）の**対策の優先付けを総合的に評価**します。

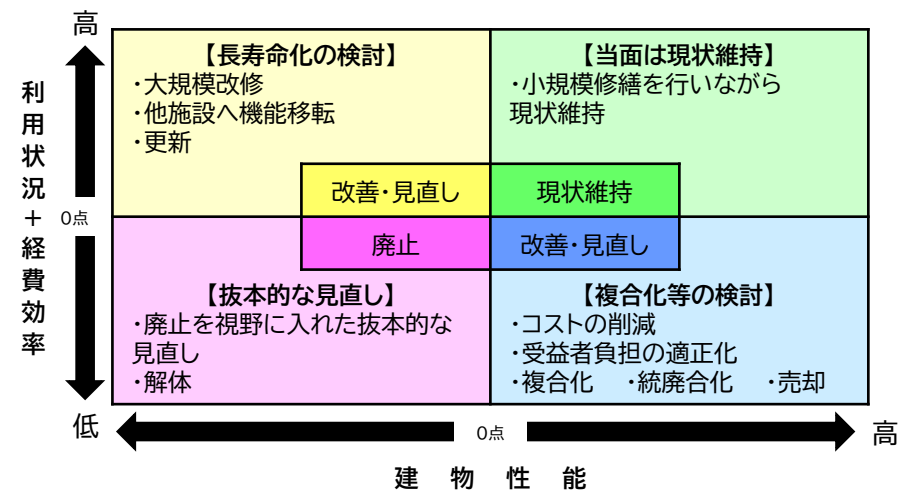
- (1) **定量評価** … 利用状況及び経費効率のソフト面と、建物性能のハード面との2軸を用いて評価
- (2) **定性評価** … 「施策上の必要性」及び「代替の可能性」の観点について評価

※ 定量評価による評価・分析

① 利用状況と経費効率による評価(ソフト面の評価)



② ソフト面(利用状況+経費効率)とハード面(建物性能)による評価



施設評価結果

① 機能の方向性 (たたき台)

| 区分【施設数】 | 説明 |
|----------|-------------------------|
| 現状維持【41】 | 現在の機能を現在の場所で維持する |
| 機能移転【5】 | 現在の機能を他の公共施設又は別の場所に移転する |
| 複合化【5】 | 現在の機能を異なる機能を有する建物とまとめる |
| 集約化【12】 | 現在の機能を同じ機能を有する建物とまとめる |
| 廃止【4】 | 現在の機能を廃止する |

② 建物の方向性 (たたき台)

| 区分【施設数】 | 説明 |
|-----------|---|
| 現状維持【26】 | 現在の建物を適正な日常補修を実施し、維持する |
| 更新【4】 | 現在の建物を更新する(建て替え) |
| 長寿命化改修【7】 | 現在の建物を築後概ね45年経過時に劣化状況等を総合的に判断し、長寿命化改修(大規模改修)を実施する |
| 耐震診断【0】 | 現在の建物が耐震診断未実施のため、耐震診断を実施する |
| 耐震改修【0】 | 現在の建物が耐震改修未実施のため、耐震改修を実施する |
| 貸付【0】 | 現在の建物を民間事業者等へ貸し付ける |
| 解体【12】 | 現在の建物を解体し、解体後の土地を活用する |
| 売却・移管【18】 | 現在の建物を土地と併せ民間事業者等に売却・移管する |

仮に「解体・移管等」の30施設(延床面積:59,000㎡)を処分した場合、
(R2末延床面積) 全体:1,585,995㎡ の 約3.7%の減
県民利用施設等: 356,000㎡ の 約16.6%の減

| 区 分 | 主 な 施 設 |
|-------------------|--|
| 現 状 維 持 【26施設】 | <p>現在の場所で現在の機能を維持【20施設】</p> <p>▶アイーナ、スキージャンプ場、ガイダンスセンター、療育施設など</p> <p>他施設との複合化・集約化を推進【6施設】</p> <p>▶野外活動センター(青少年の家を集約)、産業技術短期大学校など</p> |
| 更 新 【4施設】 | <p>現在の機能を維持するため、施設の更新（建替等）を検討【3施設】</p> <p>▶農業大学校、中山の園、消防学校</p> <p>他施設との集約化を視野に入れた上で、施設の更新（建替等）を検討【1施設】</p> <p>▶県営体育館(パラリーナを集約)</p> |
| 長寿命化改修 【7施設】 | <p>現在の機能を維持するため、施設の長寿命化改修を検討【6施設】</p> <p>▶県営運動公園、県営武道館、県民会館、公会堂、リハセン、県北青少年の家</p> <p>他施設との集約化を前提として、施設の長寿命化改修を検討【1施設】</p> <p>▶県民の森(4森林公園を集約)</p> |
| 解 体 【12施設】 | <p>他施設への機能移転を視野に入れた上で、解体を検討【2施設】</p> <p>▶花きセンター(農大への機能移転)、農業ふれあい公園</p> <p>他施設との複合化・集約化を前提として、解体を検討【8施設】</p> <p>▶総合防災センター(消防学校と複合化)、相談拠点施設(県民生活センターと福祉総合相談センターを複合化)、 県立職業能力開発施設(集約)、4森林公園(県民の森へ集約)</p> <p>機能の廃止を前提として、解体を検討【2施設】</p> <p>▶スケート場、緑化センター</p> |
| 売却・移管 【18施設】 | <p>現在の機能を維持しつつ、市町村や民間事業者への売却・移管を検討【12施設】</p> <p>▶観光・レクリエーション関連施設(船越家族旅行村、自然公園など)</p> <p>他の県有施設への機能移転・複合化・集約化を前提として、施設の売却・移管を検討【4施設】</p> <p>▶パラリーナ(県営体育館へ集約)、青少年の家(野外活動センターと複合化、県北へ集約)、 水産科学館(水産技術センターへ機能移転)</p> <p>機能の廃止を前提として、施設の売却・移管を検討【2施設】</p> <p>▶温水プール、福祉の里センター</p> |